

**施策 22 地域特性を生かした都市空間の形成**

目的

＜対象＞市内全域  
 ＜意図＞地域特性を踏まえ、多様な機能が調和し、人々が集い、活気とにぎわい、うるおいとやすらぎがある

施策の方向

○京王線の地下化を機に、駅前広場や鉄道敷地周辺への都市機能の集積や、ゆとりある空間の確保により、魅力ある中心市街地を形成するとともに、地域の特性を生かした質の高い都市空間を形成します。

**施策の達成状況**

まちづくり指標	基準値	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標値
中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	51.8% (H26)	53.1%	51.8%	53.1%	54.8%	66.1%	70.0% (H30)
駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	65.0% (H26)	65.4%	65.0%	63.6%	64.8%	68.9%	70.0% (H30)
深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	88.1% (H26)	89.0%	88.1%	87.2%	88.2%	87.6%	90.0% (H30)

**その他**

- 布田駅前広場：平成 27 年 3 月交通開放
- 国領駅前広場：平成 28 年 3 月交通開放
- 調布駅前広場：(平成 28 年度～)北側から段階的整備
- 鉄道敷地：(平成 28 年度)端部において防災倉庫、福祉施設を整備、自転車駐車場(3箇所)整備  
 (平成 29 年度)自転車駐車場(2箇所)整備 など

**■ 現状と課題**

- 平成 24 年 8 月、京王線連続立体交差事業によって、京王線の柴崎駅～西調布駅間の約 2.8km の区間と、調布駅～京王多摩川駅間の約 0.9km の区間の地下化が実現したことにより、道路交通の円滑化や歩行者・自転車の安全性の向上、鉄道により分断されていた市街地の南北一体化など、様々な面で市の都市構造が大きな変貌を遂げました。
- 市内にある各駅の周辺は、それぞれの地域に暮らす人々の日常生活の中心となっており、各地域の特性に応じたまちづくりを進めていく必要があります。
- 柴崎駅周辺について、安全な鉄道横断機能を備えた自由通路を含む橋上駅舎化を軸とした交通環境の改善検討のほか、優先整備路線である駅南北の都市計画道路を含め検討していく必要があります。
- 深大寺地区は、古刹として知られる深大寺とともに、そば店などが建ち並ぶ門前及び周辺の街なみは、調布市の代表的な観光地となっており、多くの市民がその景観の良さを実感しています。平成 16 年度に施行した「調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例」に基づき、深大寺地区を街づくり推進地区に指定しています。また、同条例に基づく「深大寺通り街づくり協議会」が中心となり、街づくり協定が締結されるなど、地区住民による活発な活動が行われており、これらの活動と連携を図りながら、歴史的・文化的な風情を感じさせる街なみ景観を形成し、地区の魅力を高めていく必要があります。

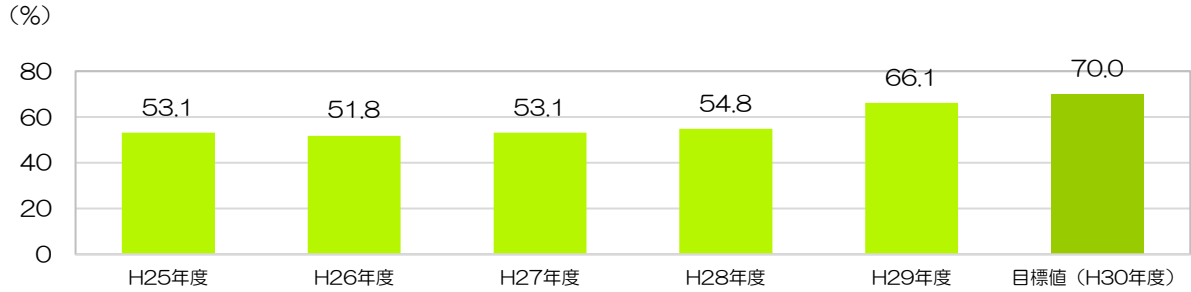
**■ 次期基本計画策定に向けた主なポイント**

- 京王線の地下化に連動した南北一体のまちづくりを推進し、ソフト・ハードが一体となった魅力ある中心市街地を形成していく必要があります。
- 鉄道駅周辺は、交通利便性の向上とともに、日常生活の利便性を高める生活サービス機能の集積など、地区の特性を生かしたまちづくりを進めていくことが必要です。
- 深大寺地区は、武蔵野の自然と歴史・文化の継承、にぎわい創出を図るため、地域と連携を図りながら街なみ景観づくりを進めていく必要があります。

## 22—1 魅力的な中心市街地の形成

### 【まちづくり指標】中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合

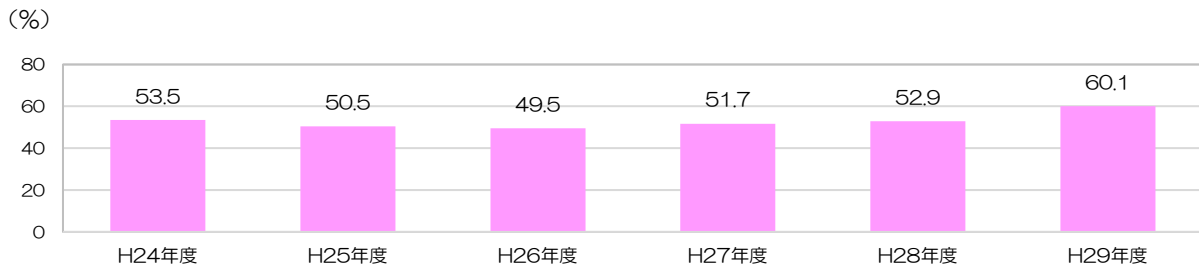
平成 26 年度から年々増加しており、平成 29 年度は 6 割を超え、目標値に近づいています  
中心市街地の駅前整備の進捗が影響したものと推測できます



資料：調布市民意識調査

### ◆中心市街地がにぎわっていると感じている市民の割合

平成 26 年度から年々増加しています  
平成 29 年度は特に大きく増加し、約 6 割の市民がにぎわいを実感しています



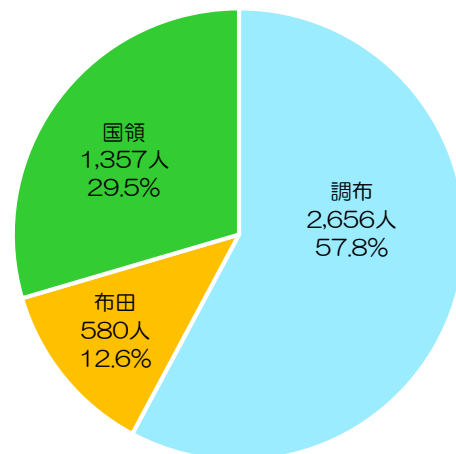
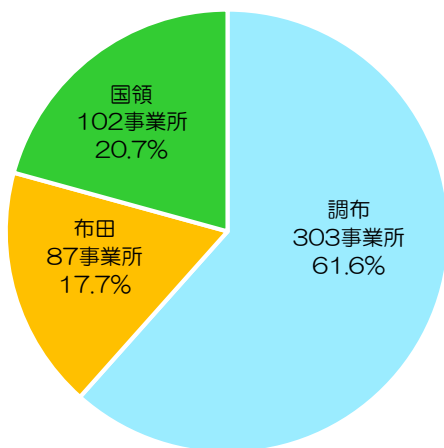
資料：調布市民意識調査

### ◆中心市街地（調布・布田・国領）の卸売・小売事業所数・従業者数（平成 26 年）

事業所数・従業者数ともに 5 割以上が調布にあつまっています

事業所数

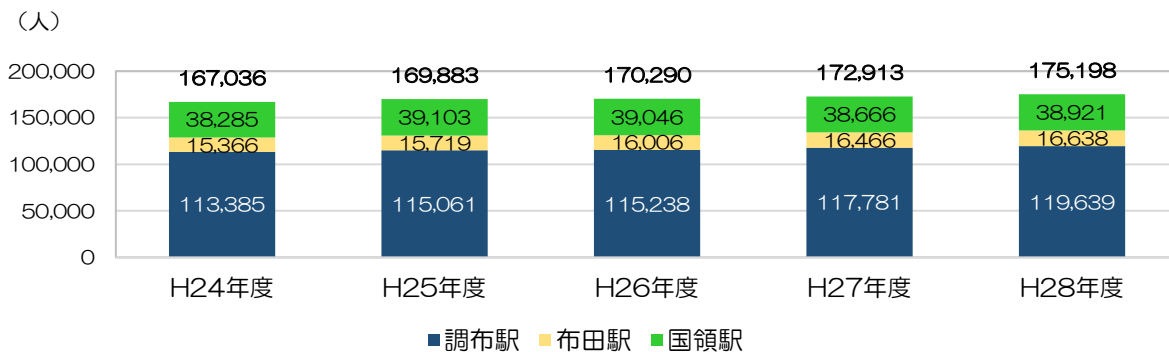
従業者数



資料：経済センサス基礎調査（平成 26 年 7 月）

◆調布・布田・国領 3 駅の 1 日平均乗降客数

どの駅も年々増加傾向にあり、3 駅をあわせると平成 24 年度から平成 28 年度の間に約 8,000 人増加しています

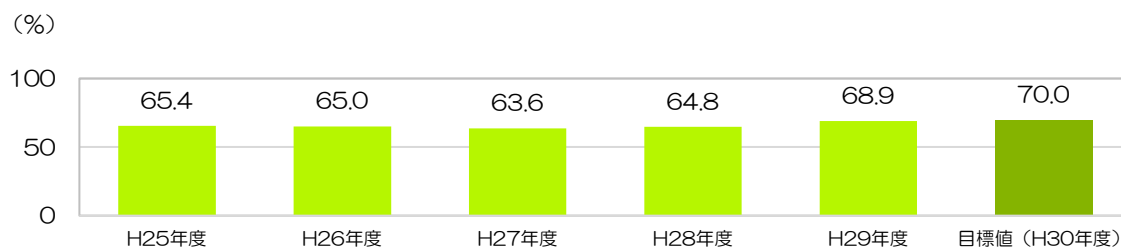


資料：京王電鉄(株)ホームページ「京王ハンドブック」

22-2 駅周辺におけるまちづくり

【まちづくり指標】駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合

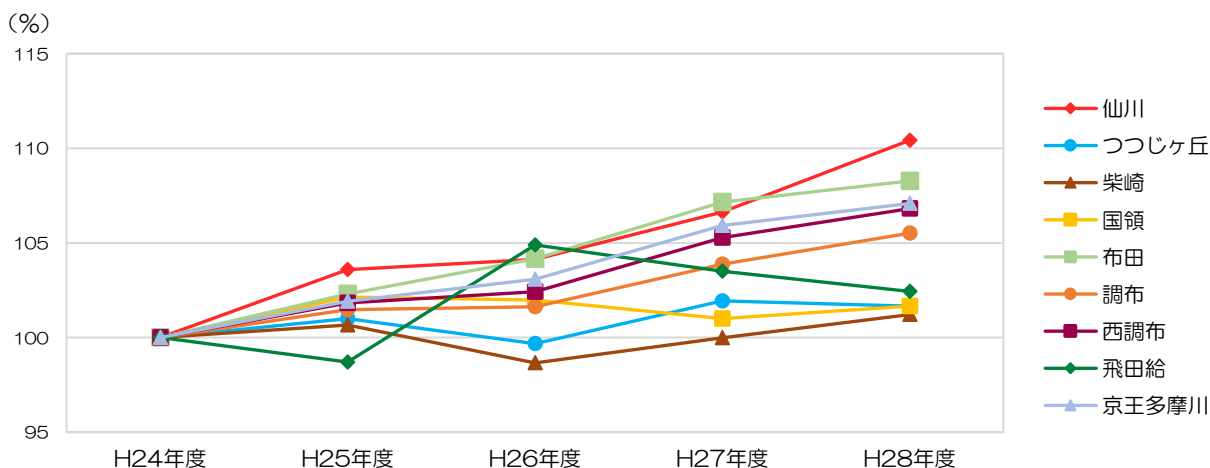
平成 27 年度まで減少していましたが、以降増加に転じており、目標値に近づいています



資料：調布市民意識調査

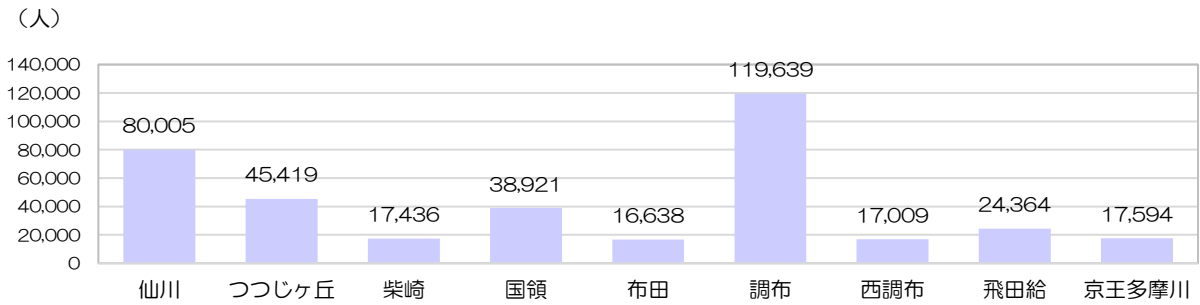
◆各駅の乗降客数の変化（平成 24 年度を 100 とした場合）

平成 24 年以降どの駅も概ね年々乗降客数は増加しています  
仙川駅が最も増加率が大きく、平成 28 年度には平成 24 年度より 10%以上増加しています



資料：京王電鉄(株)ホームページのデータをもとに作成

【参考】市内各駅の1日平均乗降客数（平成28年度）

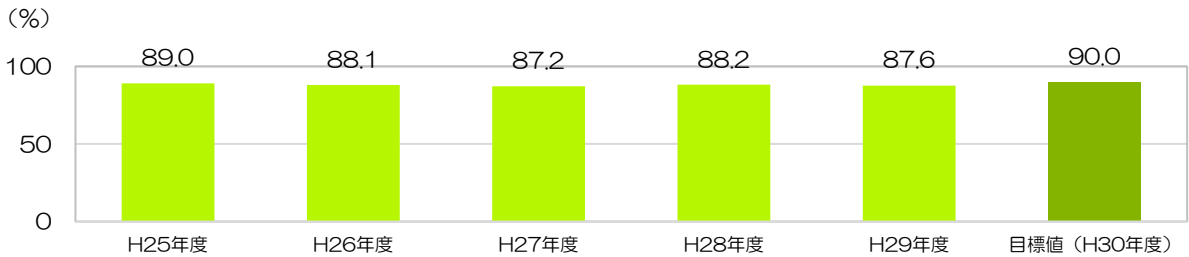


資料：京王電鉄(株)ホームページ

22-3 深大寺地区におけるまちづくり

【まちづくり指標】深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合

毎年、目標値付近で横ばいとなっていますが、9割近くの市民が深大寺周辺の景観が優れていると感じています



資料：調布市民意識調査

多様な主体との連携事例

深大寺地区のまちづくり

深大寺地区においては、街なみ景観の維持、向上を図るため、地区住民による街づくり活動が活発に行われており、調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例に基づく「深大寺通り街づくり協議会」は、平成21年5月に「深大寺通り地区街づくり提案書」を市長へ提出を行っています。

市では、平成24年7月に深大寺地区を街づくり条例に基づく「街づくり推進地区」に指定するとともに、地区の街なみ景観を保全するための自主的なルールとして締結し、運用している「深大寺通り周辺地区街づくり協定」を認定しました。

また、平成24年11月に「深大寺地区街なみ整備基本計画」を策定し、遊歩道・散策路整備、道路の美装化・改良、店舗等の修景整備などの街なみ環境整備事業を「深大寺通り街づくり協議会」との協働により進めています。

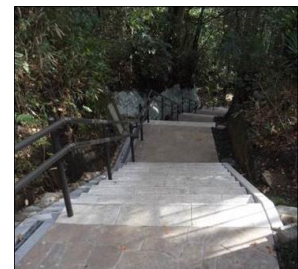
【所管課】

都市整備部 都市計画課

【協働のパートナー】

深大寺通り街づくり協議会

【街なみ環境整備事業取組事例】



＜地獄坂整備＞



＜可邊留庵 修景助成＞



＜湧水 修景助成＞